

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

北島北小学校
「学力向上実行プラン」

- 言語活動の充実を図り、主体的・対話的な学習を創造する。
- 学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立を図る。

学力向上推進員	委員		
	校長:	教頭:	
	教務主任(4年主任):	1年主任:	2年主任:
	研修主任(5年主任):	3年主任:	6年主任:

校長

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題にまじめに取り組むことができる。 ○おおむね基礎的・基本的な知識・技能は身につけている。 ●習熟度の個人差が大きく、個別指導の必要な児童が多い。	・基礎的・基本的な知識や技能を定着させ、必要な場面で活用することができる。	・小テストやプリントにより、基礎的・基本的内容の充実を図る。 ・既習内容の復習を計画的にする。 ・個人差に応じた支援をする。	・パワーポイントで作ったフラッシュカードを使っての復習も取り入れる。	・小テストやプリント、パワーポイント等の活用により、基礎的・基本的内容が身につけてきた。 ・既習内容の復習を計画的に行うことができた。	・ICTの活用、朝の時間の見直しなどで、基礎基本の定着化の効率化を図る。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友達の意見を認め、取り入れたりする。 ○意欲的にタブレットを活用できる。 ●多角的な見方はできるが、表現する力が弱い。	・相手や目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現できる。また、他者の意見を取り入れて、自分の思いや考えを深めることができる。	・デジタル教材・ICT機器の積極的な活用やペア学習など様々な学習形態により、表現や発表の支援を工夫する。 ・ノートやワークシートを活用し、自分の考えや学習のまとめを書く活動をする。	・国語の教科書にはない読解問題を解く機会を増やす。	・タブレットを効果的に活用できた。 ・毎時間の振り返りで、自分の考えやまとめを書くことで表現力がついてきた。 ・自主学習に進んで取り組む児童は、まとめる能力も向上している。	・さらにタブレットを効果的に取り入れ、表現や発表の幅を広げる。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や家庭学習に意欲的に取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけ自主的に学習する児童が少ない。	・自ら課題を見つけて自主的に学習に取り組む、意欲的な態度で学ぶ楽しさや喜びを実感することができる。 ・家庭において自主的に学習や読書をするすることができる。	・自主学習や読書活動に対して自らの目標を決め、積極的に取り組むことができるよう奨励システムを推進する。 ・図書の種類を考えると、本に興味を持つ活動を工夫する。	・学んだことを使うことができる体験ができるようにする。 ・低学年では、絵本の読み聞かせを継続して行う。	・自主学習のよい取組を示すことで、進んで取り組むことができた。 ・絵本の読み聞かせを通して、様々なジャンルの本への興味が高くなった。 ・低学年では、週末に図書室で借りた本を持ち帰り、家庭での読書ができた。	・PBSの活用を考える。 ・家庭学習に、読書を取り入れるなど家庭での読書の時間を増やす工夫をする。

令和4年度 学力向上ロードマップ

